

『協同と教育』執筆・投稿規程

本誌は日本協同教育学会の機関誌であり、協同教育、協同学習にかかわる実証的、理論的、方法論的な研究の発表、ならびに「協同」を基盤とした教育に携わる実践者・研究者への広範な情報を掲載する。

- (1) 本誌は1年1号とし、毎年発行する。
- (2) 投稿の資格は、連名執筆者を含め、原則として本学会員に限る。ただし、編集委員会が必要と認めた場合には、この限りではない。
- (3) 投稿原稿の採否決定、および修正は、編集委員会による審査を経て行われる。
- (4) 本誌に、情報交換の場としての「結風」、「研究論文」、「実践研究論文」、「論考」、「書評」、「学会消息」などの欄を設ける。
- (5) 本誌に掲載される研究論文は、協同教育の発展に資する未公開の論文とする。
- (6) 研究論文などの作成にあたっては、人間の尊厳や人権の尊重に十分な配慮がなされなければならない。
- (7) 本誌は1頁40文字36行とし、原則として、研究論文、実践研究論文、論考は刷り上がり12頁以内、書評は刷り上がり2頁以内とする。なお、頁数については、編集委員会が必要とみなした場合にはこの限りではない。
- (8) 投稿原稿の提出は、すべて指定のテンプレートを用いた完全原稿とし、編集委員会 (editor@jasce.jp) 宛て添付ファイルで送付すること。なお、投稿種別ごとのテンプレートは、日本協同教育学会のウェブサイト (<http://jasce.jp/>) からダウンロードすることができる。
- (9) 投稿の際は、以下の3つのファイルをPDFファイルで作成し、送付すること。
 - ①本文（論文タイトル、アブストラクト(③を参照)、著者名、所属機関、引用文献を含むもの）
 - ②本文（①について、著者名、所属機関を含まないもの）
 - ③アブストラクト（和文のもので500字程度。和文のものに加えて任意で英文のものをつけてもよい。英文の場合は100～175語）、英文タイトル、著者の連絡先
なお、英文アブストラクトは、掲載が決まった後に送付することも認める。掲載が決まった際には、英文タイトルならびに英文アブストラクトについては、英文校閲済みのものを提出すること。
- (10) 論文における本文中の引用のしかた、ならびに引用文献の書式は、下記に従うこと。
 - ①本文中では、安永（2004）、（安永, 2004）のように引用し、本文末尾に著者のアルファベット順に引用文献リストをつける。
 - ②引用文献リストの記載は、発表者の所属する学問領域の慣例にしたがって行うこと。ただし、とくに定めのない場合については、原則として以下の例にしたがって記載する。

○和文の単行本の場合：

杉江修治・関田一彦・安永悟・三宅なほみ（編） 2004 大学授業を活性化する方法
玉川大学出版部

○和文の雑誌の場合：

安永悟・中山真子 2002 LTD 話し合い学習法の過程分析－不確定志向性の影響－
久留米大学文学部紀要 19号 49-71頁

○欧文の単行本の場合：

Sharan, Y., & Sharan, S. 1992 Expanding cooperative learning through group
investigation. Teachers College Press, New York

○欧文の雑誌の場合：

Cohen, E. G., 1994 Restructuring the classroom: conditions for productive small
groups. Review of Educational Research, 64, pp. 1-35.

(11) 本文中での表記は、以下に従うこと。

- ①句点はマル（。），読点はカンマ（，）を用いる。
- ②数を表示する場合は、アラビア数字を用いる。
- ③英数字に関しては、原則半角で示す。
- ④図や表については、通し番号を付し、タイトルをつける。
- ⑤注釈がある場合には、本文の該当箇所に上付き文字で通し番号を付す。

(12) 本誌に掲載された論文の著作権は、日本協同教育学会に帰属する。論文の掲載が決定した際に、本学会所定の著作権譲渡承諾書に署名し、本会事務局に返送することで著作権の譲渡を行う。なお、著作権譲渡承諾書の提出を掲載の条件とする。

附則

- 1 この規程は、2020年1月28日より施行する。
- 2 この規程の変更は、2020年12月19日から施行する。
- 3 この規程の変更は、2022年5月8日から施行する。

以上